科目名称	精神看護学概論	学年学期	単位数	時間数
		1 学年前期	1	30
担当教員	村上 裕紀	授業に関わる実務経験	■ 有 （ 看護師 ） □ 無	

【1】 **授業概要**

現在社会では、さまざまな環境問題によりあらゆるストレスを抱えており、心の不健康状態を呈している人間が多い。そのため、精神の健康と保持・増進に向けた精神保健についての基礎的知識と精神看護の役割について学ぶ。
また、地域社会の中で精神保健医療福祉におけるチームが、対象の人権擁護や安全を守りながら社会復帰に向けてどのように支援と連携を行っているのか基礎的知識と看護の役割について学ぶ。

【2】 **学習目標**

1. 精神の健康と保持・増進に向けた基礎的知識を学び、看護の役割について説明できる。
2. 精神疾患・精神症状をもつ人の人権と安全を守り、社会復帰の支援をする基礎的知識を学び、精神保健医療福祉におけるチームの役割について説明できる。
3. 精神疾患・精神症状をもつ人の生物・心理・社会的側面に注目した基礎的知識を学び、看護の役割について説明できる。

【3】 **第 2 看護学科ディプロマポリシーとの関連性**

学習目標を達成することにより、次の能力を身につけることにつながります。

■ 1. 生活者としての人間の理解
■ 2. 人間を尊重した判断・行動
■ 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
□ 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
■ 5. 多職種連携・協働
■ 6. 地域医療の理解と支援
■ 7. 主体的な学習

【4】 **授業計画**

	内容	主な授業形態
1	精神の健康	講義
2	精神保健医療福祉の変遷と制度	講義
3	精神科医療の現状と課題	講義・DVD
4	ストレスと健康の維持	講義
5	こころの働き（理論から考えた精神活動）	講義
6	こころの働き（精神活動の基本的考え方）	講義
7	人格（パーソナリティ）の形成	講義
8	適応的防衛と不適応的防衛	講義
9	精神疾患（障害）の特徴	講義
10		
11	精神科での治療	講義
12	安全な治療環境と課題	講義
13	患者と家族への看護	講義
14	災害時地域精神保健医療活動	講義
15	試験・まとめ	

【5】 **評価方法**

科目評価は、筆記試験(80%)、課題の提出物（20%）、出席状況、受講態度等で総合的に評価する。

【6】 **教科書**

武井麻子他：専門分野 精神看護学[1] 精神看護の基礎 第 6 版【電子版】, 医学書院, 2022 年
武井麻子他：専門分野 精神看護学[2] 精神看護の展開 第 6 版【電子版】, 医学書院, 2022 年

【7】 参考書

武藤教志：メンタル ステータス イグザミネーション①②・精神看護出版

山本勝則：精神看護技術・メジカルフレンド社

【8】 受講生へのメッセージ